KODAK Color Control Patches ©The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

35
4862
9

特
ヌ5
4862
9

本朝諸士百家記目録

巻之九

藤別当実定一角ゲ姫君を切殺さんとする乳親の歌を討る事

同小磯川為朝丸の事

おくりとらんめい弓法を切る事

一ノ矢阿波弥太郎義成の事

橋別当頼政と大蛇女房変化の事

女変別当対峙勢揃の事

二ノ矢数幸ゲる事

前集

伊勢三

同姓沢川女無坂と名よりの事

和光寺略縁起のこと

肥後國新川沖右衛門女房の事

本朝諸士百家記巻之九　前集

源色一角ら姫路の城主より親の敵討

ひう後国府中今川源新右衛門義元の国司より一宮

源彼敵とし[illegible]元本国より[illegible]

勇力士一と在義田信玄今川義元の婚男氏真を義元

源彼敵とし[illegible]

[illegible]

彼敵と妻子[illegible]

[illegible]

[illegible]

と申そうしたまひしを法然房こゝろえ給はぬ
事なれども仰せ承はりて法然房の
者ども数つくしその軍中にて
と申さるゝ事なるべし海仏ゆゑ
と同意之百姓ども
仰せ下されたりしかば
智識中一人の
りくれへ都中一人の
よ法然房そだちのよりて二十だりの女
ぞ法然房も奥方のゆゑ

八一うう仏女よりまり世
よりれりひとつひの女
縁と教えられだりの
れ申しひのふりこ
ふりこいりせのうこひ
ぞこあこせ申しくこ
まれまひのちこひのこ
こ申こ時うもこ
とあこ
ぞうこ
まここのの
し今者の

ぞくべ今いかのとりつくこゝやうひ[illegible]
[illegible]ゆく[illegible]ひ[illegible]のこゝ[illegible]伝云そよ
つと破敵と討れ申れるとの伝異おうかのかゝと
らもとうれ共雪ゝ破敵の四ゝ申れだゝるゝ
討ゝ[illegible]べさとゝ日ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
らもと[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ひさうゝゝどさゝれだゝて[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
れめゝゝと[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
つゝゝゝ

果の縁とかやうに夫婦二世とは夫婦のちぎりを結ぶんと祈洞ぐてうりぬれば女房をもいとび合掌まれまよ洞をうづ弘法薩埵の門拝云れ〳〵かとも世ごとに孫よ親世まる業の為の為大地ぞありがうさ門利生まるたうづひ〳〵ばしらく〳〵まりうせんれこそゆうりがうづかたと教義伝云の門内の伽藍一角とやしたの姫ありがう親まそ仏一角いなる人弘法敬礼ようしまれ父一角ひまうがみまよりもまり〳〵ばかれ

れ世ぬ男毎ひうづうしこ二世の財ちろまりくかのひぬがこと世に仮のみとさ男ぬり〳〵と毎方の伯母者舞しかれまの人とまり〳〵あひぬるる人弘法敬礼を親の歌とぬ〳〵ようそ拝こうづいまてうり〳〵ばのとそ一ちまり拝つて父

者ちまりまよりまりまんとたひとりまりまの世〳〵さうれ

みてくらひのさ世の男紀かがしまも十六やまそ

いづ〳〵まよ月とれうりぬがづ〳〵まも父一角ちの道ぬと

うく重源寺まよ一刀三礼まよ拝りのみ敬世観ちまの名像

みと毎方父とまんぬとまひぬる像をうとと父ち歌

とん うせくうびうるとうれおくいうつりづ教と

とつくうびの三毒の鬼とぬくも歌が対てひらみ

とれ紀れてうりまるのくいのりまりくせひが極いの

門利生まのくれまと縁と結びの教れ一節まよがとわ

ま世歌と対くの門ちまりぬべ〳〵わひ毎へくみまを

とハさとらまとのみなれまとんとありんとハ歌と対

ちまんやとし〳〵ばハ法弘欲ち薩埵ようづうりぬ

でまのりつくりの一人もゆしこび姫の夜恵入
れりしまの世歌家入くくりの兄法ハるの鶴と赤こまん
ゆ〜〜そもとをれ品りの討ゆへとづのの上巻とそや
こうひ的りまう鶴の鳴ゆ〜〜潮のうこ
まりれつひぐこりハ出〜〜この形〜〜ふ海のれる
ひ恵と巻との二箱よりけ海ひりう恵の左

小磯川為ゆ〜家討のゆ

新くこる鳴の夾漂ゆりく恵とを世こりう小磯川
為ゆりこぐこ中陸より三海の夾漂ゆより討ゆ〜〜海
異よりくりうれたいゆ〜〜も出家〜てこりのゆ為
ゆ討てまゆ〜〜世より恵巻ゆ〜びわりりべ〜と巻討
の高俊をいひ合世歌陸へこそ海ゆれそ歌の夾漂

ゆりこりの名ハ又十人歌の門ゆへ恵ゆたせ巻世
の法小磯川ゆ〜こりゆ為の門へ世巻ゆ為人ゆ家前
をりこりこりそりゆ門と新ゆ〜こりこりれゆ法ゆ
名ゆ為恵ゆりこりゆ弾ゆ〜〜一れりりゆ為こと
為ゆ〜〜恵こりゆ〜〜りりりりりりりこ
ゆ新ゆりこへくこりゆ〜〜ゆ〜〜ゆ法ゆりの大小と男
くくと恵人法破歌ゆ家藤ゆの廣庭ゆりこ入身と
法りくゆ法ゆくゆ為楓ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ歌の歌
と恵ゆこりこりの社のゆりゆ〜〜こりゆ〜〜ゆ法破歌ゆ家
へこりゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜
法海ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜
ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜ゆ〜〜

時こそ春のつゆとうづもれて結ぶく波路破れ衣
の袖つゆ涙をそれとなく見ぬ人の恋ひ慕ふ
ゆかしくも思ひ知るべき慶雲寺よりめぐりて
ゆく波路破れ衣きぬ着ぬ人の入るくまもなく
とどまりぬ世よりとうぐもれ花ぬ
海ぐてまぐ世やしげ波ひ
もとべ寄りとてもんとさぐりもんれと大ぶたよ
さうとぶ蔵よりてうちわつとり矢つとあんへ
そうるる寄今宵の寄対ひ物のめぞ矢一つとて世
んあくもんとうちとうと矢とれでこいりんむうん
とうろぶ波ぐうとうとうとうへたうちと矢りしうとと
とそうとうくぬへそうくぬへそうくぬへ入波船あうちうぶ

おぶけたゆづうれあうくぶくそ面金こ寄と行どれつれ
まうくかくぬをとうくぬあぶく気とうぐりとそこ
らけぶうくりのよせく皆ぬうくりよそんへくくれ
今ぬ新とるあう寄問ぬ新つ波ぐうりあくれたぐ
ひとぬくくぬ世ぶぐうくりの入たうりぬどのつ寄れた
ととうくぬ世ザアくく女房ぐめとさくむ神んを
ちうせとぬひくれぬ女房ぐ姫とさくうくぐわ
らん波破衣と抜波ぬ魚伝ぬの川内ぬ波魚二角童
縄ぐ姫親の歌ぶぶへうとくりとぬさくぬ一り今ぬ
そまぐくうまくやとぬくれよそそそ寄問くくぬ新う
ぬぬけたうり雛ぬくぬ世ぬひぬよりうり新ぬく小波川変
世の着波会ぬとぬ千三人まくぬもを頁ぐ女波人主

[illegible]人の男法[illegible]人の[illegible]法被[illegible]ら首と見[illegible]
つ[illegible]いさ[illegible]さ[illegible]て[illegible]死[illegible]ん[illegible]
庄屋をあつくわてこの[illegible]女[illegible]ら[illegible]ん[illegible]
を捨親の敵とうくうんとし[illegible]く敵世[illegible]寿といの[illegible]信[illegible]
[illegible]さ[illegible]佛[illegible]と[illegible]叶若男[illegible]敵と討[illegible]女
人の名[illegible]史[illegible]孫[illegible]富[illegible]

以女親善の[illegible]尼を[illegible]一自一[illegible]
三百三十三遍[illegible]尼一遍の功德[illegible]門品
三千三遍よむ[illegible]ふ[illegible]識[illegible]と[illegible]

唵阿盧力迦沙婆訶

月[illegible]女[illegible]
[illegible]国の内[illegible]の[illegible]
[illegible]月[illegible]
同役[illegible]
役の[illegible]人[illegible]
石[illegible]
[illegible]
[illegible]

何ものとのうちあるくよ後妻とあり　後妻とは納まるべかりの子
細なるものなれども　なれたがさこの男をもこんをもこんをの外英子
百貫とかの後妻いかれども　いてもいかでうしてもいかるべきこと
くしくこれを数年いかに武英子百貫毎年このうち員これを
勘定をとりうしとて米商のくるとうくしくを細定を流へのを
金をとり無論の切腹とこそなれ　うし無英子もいかるものの
あれどこの業あるとも及ぶ切腹とべきこんを屋と後妻を房と
ぶそなれまうひさ今へ邪ぞれしひ定めかりてのの
腹をとうくもうあたげうのを教ぞとの腹いかるや十六を
あれどいりかるやばりへよも出れ屋をこう貫オ六七ちに
つこ孫あるこをいを赤ぶうのを家をる後へ閑ぞあるべしまく
よくへ初うあさ一数のあるくうを二ものづくとのを対

くいづらへぶり元書のとあるしてをあいうのをあのへと
うぶふをこれとをあるさいてをこと安房りものげくを
ここのくをてれかうとをあるくこうけをとそをいひぐい
あるこれぶれなやうこをあるとわをこれをあれ武英子の
うのあるくを切腹もうへ当をのあるくひ今を更をるうのへ
わく教ぶどば家の義へ武士をとをひをこを家賓のをあるを仕
腹じあへべをこへいをこをこうく腹をあるくあるへの
和をうべくをくをこぶうくこうのうをのをとれうひあり
こうばを家のへれ切腹へ和武英子百貫のうをこば和のをを
をくのへれ腹あをうくをとをあるくをくをもうをあるへれ
なのをくをこぶうくこううげ和母の腹へ大腹へ縁をうをこをを
人の和をあをとやんをとれうをとうをこうをこをの

れいはまりしをうたれものがうりせーはこあるこをあるこのこの
年十ゐ六ようのうと十年ゆくゑ知れずなりぬれば親
武貴ゑ百月ようりこ貴ゑ月きぐくのハ男ゑれうー妻ゑ女ハ
婦婦ひこうもあらくまわしび旅もちぐもてや
さーう生れ付めどうくさーうしわとわりハて傾
城ぢきようのしば親ゑ一生ハ雑業とのゐれゆへ
うとものこで男ハ行く涙とあげたとのたぶとさーとう
しー同ー枕ようれどくいぐくたのーうれゆといくさ
めぢくれりひきようーゆんどいひるばさくれゆ女
房童て極ゑてあこのゆせうゆげ武士ようのい
ゑたゆう当一さひーうひようりのく他ぎゆゑ貴ゑと
いゑのこうゑ身の重病とかとゆのハ盗賊ゆくハ

ゆうべやのさだうく後をでひめせびうさうのれよれ
ばーめさまんどれと繁太郎とりのく娘のみぐべさ
るゆう高吉家の座をいてえの重郎とかを
めゆ方のわつさまく切後をいてうりなとせの嫡とうけ
めうん娘を高吉内儀の郎いうしてなたせるの郎と
つてこめうり娘ぐるゆ座清ゆう一郎の方へ書ゆ後
うわえゆんどいで雅ゆうりのひしうび孫吏背ものび
くこうり書べふもおうひで雅みくくん主うりの
ゆし見れく捨させゆうりと洞をゆりいさむれ
で繁太郎ゆもたとはくんし娘をよびくきりくれよ
しいひ洞せめれでゆのぐ郎ゆ郎を捨ても親兄弟の
郎をとつむるゆしびうくうさゆをいとうんと

いうびよりさ二云より吏娘の者ハ力と娘びそざち後郎が
母ゆ娘の吏娘をよびよ在いまゆ郎ゆ郎ゆ郎の郎
ゆをりに大娘へさうーでーれいうゆ面ゆりりつまうん
十年ゆく娘三貴国ようりーさくそのまく郎ゆを
ゆうーゆ高山で郎宮郎のつくゆもゆくゆ郎娘の
宮を娘をれゆくーこの娘繁太郎一人ゆ後義を後郎
らうう郎お後郎年ゆ郎ゆ郎と繁太郎つゆでドうれ高
娘ハ郎ゆ郎くゆ年ゆもてざう門太娘のまを丁郎武右
郎ゆくうけ郎ゆ郎宮ゆ仕ゆ高ゆーゆくうびく親
里へ後をーゆ郎入門ゆ入郎ゆ郎ゆくゆくーくと
ゆ郎ゆりゆもうゆ女の郎郎ゆりゆ郎ゆ郎ゆ郎ゆ郎
ゆりゆ郎ハ郎ハ郎ハ

摂津川女　難波と名りよ　三河女のうた

摂津国難波　摂津の国の難波江　はつ花の
三十余百　難波の中の　大和めと　難波
池とい　摂津国　若葉寺と　さ　伝
むら　百　摂津国　我　摂津
の　うつせ　と　目　摂津
と　寺　の　天　と　摂
もこ　と　の　摂　と　つ
光　十　方　と　し　の　大　と　し　の　し　と　し　の
し　と　し　難　摂　し　し　し

よを流布び程女多どさ程ゆまとしたいあまとりなれ松
川屋とうやいの西新町蔵を新流行の川崎うえ
松屋宗ふうとい西伯ありしゑ屋十ゑりの法花ど
いの家のうあまあ多ゑ呂木よりてうあたがりなる学
もあ一門ゆうもあしざうなれで首尾ようなる寺
よれいとあをやうけ年法到深ゆう女とつまとくな
法へ立戦武具ゑるゑとてゑ法ゑ一張らば賓武
百面半のりでゆくゑ高というあとなれた高
別あれでんようあてびよ代まゑの高ゆく二とゑ
余の内金百屋文十あうしあひ今ハ繋ようあ結あどり
叶多神とゑりあ女有法くくとれのひゑ高をとくゑ
代法ゑあり高ゆくハ伴くゑ多義とうあぐゆうく

屋一軒あるとはいとゆもうゆゆとゆとゆとゆゆ
ゆゆこのうゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
おゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
おゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

婦といふ不の関子寒孔を養ひ給ふ云々関子寒孔子の弟子なり十人とうゐ中の一人孝行なる関子寒孔子の云はく母なくして継母に養はれ孝行なる継母に我子と思しめして関子寒孔子継母に二人の子あり継母に入れ給ひ冬は蒲の穂をとりて綿入れ給ひ夏は葦の穂をとりて綿入れ給ひ夏は涼しく冬は暖かなる事を父に申し給ひ継母の事をさうんとうれども関子寒父に申さず母に申さば継母の二子寒い母に申さば継母の二子寒い

関子寒父に申さんと思ひ給ひ

関子寒父に申さんと思ひ給ひ

何曾時継母に

とらせ給ひ

いつくしみ給ひ継母に

せつなく父に申さず母に

いつくしみ給ひ継母に

関子寒父に申さんと思ひ給ひ

いつくしみ給ひ継母に

いつくしみ給ひ継母に

あはれみ給ひ継母に

を思ひ給ふ

いつの比かうあるべき肥後国熊本の川端の新川神社

とゆ原武士なり

一人のとれ豆あり

二人のよき兄い治く

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪踏たる雪の上をとゝのへさせくるゝ所にて
とりつく業をたゞよ難しれ
同猶の業をしたゝかうこれを
神仏の業る息痛乳よ付今勢月直中の不ふ所ろ
らの凡療治さのこむつりさ痛乳とを月人さうあ
療治をゆうてゆゆ仏合点まつ
包紙とゆ物をとりとゆ
寄と同方ル配剤ふ
糖をてゝ分合ふ
と業とれ義ゆ
あれ
て胸板ゆ二使治ゆ

流乳治をゝゝりゆつ
雪踏ゝゝ
ゆんゝゝ
つゝれひゝゆ
ら
ゆ神仏業ゆ猶書
ゆのゝゝ
をのゝ
りゆ業ゆ
の恩ゆ名ゝ
しゆゝゝ
ゆ

日本諸士名家巻九
五十三

養ハ一日の内療治を為ス事ハ知もさるれしかの度相判
付ずくゝ和ハ病を治せされど醫方の一分を立くゝ
ものゝ病ハ病の内立業の方迷わ惑ふ
ことをいひ立り療治を為りよりてゝ病人をかな
くい苦ませ治せびたるべゝ先ハ朋友のうゝ
とおばさまゝ方とわゝのうゝ生ものの内惑ハ
よりと一礼とおまゝ方生藥いうく内礼ものゝ友ハん
とくゝ方うゝ藥沖方藥方へ日ゝ方ゝ今
日も業とびまんじ内ゝ藥沖方藥方へ日ゝ方ゝ
くゝ合せてゝ方醫方ん立業方毛既惑
紙ゝ方業療治をびされゝ内やゝ方醫の療治と
内礼ものゝ下安ものゝくゝ内ゝと踊ゝ郎と方ゝく

ぞ沖ゝ方ゝ方ゝ方

じ糟を吟味して先醫師より藤治左衛門つく[illegible]湯よく
を付て[illegible]乳母の涙[illegible]
[illegible]絶母のつくさ一[illegible]
[illegible]
世[illegible]
[illegible]
[illegible]

くと打ちうつ。西乳とうごろう新右衛門とあらそふを
治部右衛門義弘十一段めに鬼神と結ぶ。古今無双の名刀
あり。ごりのもくとをもくとをもくとをもくとをもくとを
れば脳をくだくとなり。ゆゑに鬼神の形
ゆゑに中古の人もくとうけつぎ。桃山とう殿の新刀
をもつて鬼神の形をうつしたるなり。西とうもんれば絶命
のわざあり。深草義弘深草とうもんれば笑を許宥ひく
もとふうとう関兼松下治平方へんとうらんそまとう
一門寄集く金義まちまちく鬼神の老ゆるふくま
ゆくれば玄中のお身よりくを修拵仕をぬしう
さうも院新右衛門親こうしめぞ拵うる所

鑓百大守国行新刀沖田兼
弊国名新右衛門十一段めに鬼神と結ぶ。古
今無双の名刀者。金義とこそ治部絶命
毎こうこう結ぶ。西行とは鬼形。絶命鬼
形。こうい絶ゆとあるさんとあるを自一
鬼神。何新右衛門親ゆ絶ゆ。十文
ようびして来形とうことを仕度もうこと
来。用ゆと無べきりのくとく新刀新右衛門
代の長付をぬしうたる守の名ゆるうる代鞘
こそありづくけも

本朝諸士一家記前之九終